



今年の桜は開花から散るまで雨や強風の影響もなく、最高の満開を見ることができ感動しました。

このニュースレターは、電子入札用ICカード購入をして頂いたお客様、当社とお取引のあるお客様、私と名刺交換して頂いた方へお送りしています。

IT関連の情報やニュース、気になる製品等をお伝えいたします。お気軽にお読みください。
宜しければ社内回覧などして頂くと励みになり、嬉しくなります。

キーボードの「Insert」「Scroll Lock」って何で設置されてるんです?

スタンダードなPCのキーボードには、100個超のキーが設置されています。これだけ多いと、仕事などで日々使っている人でも「何の役に立つか分からないキー」があるものです。きっと心当たりがあるはずですよ、「Scroll Lock」とか「Pause/Break」とか。

今回は、そんなキーボードの“いらないキー”たちの機能を紹介。使い方を頭に入れておくと意外と便利……かもしれません。



赤四角部分に集まっているキーたちは、いったい何の役に立つか……?

Insert

PCの文字入力には2つのモードがあり、ざっくり言うと「挿入入力」モードがいつもの状態。「上書き入力」モードでは文の途中から文字入力するとき、既存の文字を上書きされます。Insertキーでは、このモード切り替えが行えます。

上書きモードだと古い入力内容を消す手間が省けるものの、新しい入力内容と文字数が合わないと「お願いします」のように中途半端に残ったり、残すべき部分まで消えてしまったりするのが難点。書き換え前後で文字数が変わらない場合、例えば、郵便番号の書き換えなどに使うと便利だとか。

Pause/Break

もともとはプログラムの中止などに使われており、現在でもBIOSの一時停止などに利用可能。しかし、使用頻度が低過ぎるためか、MicrosoftのWebサイト上では「このキーはほとんど使用しません」と明言されています。

Scroll Lock

Scroll Lockに対応したソフトはかなり少なく、ほとんど使う機会がないはず。一応、「Excel」では「カーソルキーの操作時に、選択セルが動く/画面が動く」という切り替えに使えます。

ただし、カーソルキーとマウスを併用すれば同様の操作が実現できるので、Scroll Lockなしでもそこまで困らないかも。

これらのキーは、ノートPCなどに搭載されているコンパクトなキーボードにはそもそも設置されていないことすらあり、悲しい扱いを受けています。明らかに他のキーに比べて使用頻度が低いため、当然といえば当然の対応かもしれません。

～ Windows10用「付箋アプリ」～



Microsoft は、Windows 10 に標準搭載されている付箋アプリ「Microsoft Sticky Notes」の最新版v2.1を3月15日に公開しました。現在、「ストア」アプリから無償でアップデート可能。

今回のアップデートでは、アプリケーションのアイコンが刷新。メニューに新しいデザインが導入されました。付箋をアクティブにすると現れるツールバーで「メニュー」ボタン（点が横並びで3つあるアイコン）をクリックすると、付箋の色を変更するバーが現れる。このバーにある「設定」ボタンを押せば、「Sticky Notes」アプリの設定ダイアログにアクセスできる仕組み。

Windows10の付箋アプリは無くなったら「Sticky Notes」に名称変更されています。

～「出雲大社」は、何と読んでいますか？～



趣味で神社巡りと御朱印を集めています。出雲大社のことを「いづもたいしや」と思っていましたが、違うようです。行ったことあるのに知らなかった。(T_T)

公式サイトのURLはこうでした。



Google検索でもこう出てきます。



出雲大社は「いづもおおやしろ」だがしかし、「いづもたいしや」でもいいよという、心の広い神様です。たとえば最寄り駅である出雲大社前駅は「いづもたいしやまえ」と読みます。

「さあ、知らない人に自慢しましょう！！」



～編集後記～

今年も桜の写真を撮りに行きました。西公園、愛宕神社、駕与丁公園、春日神社、名島神社、桜並木公園と色んな場所の桜の写真を撮りましたが、満足の一枚が撮れなかった。発想の転換と視点を変えるの2点を克服しないと難しいと感じました。仕事も同じですね。諦めずに来年に期待しよう。

記 奥村